

会 議 録

会議の名称	ざま男女共同参画プラン推進協議会 第二回会議
開催日時	令和4年3月17日(木)
会議方法	書面会議
出席者	渡部由紀子(会長)、樋田一徳(副会長)、伊藤めぐみ、杉山朋子、小田切政子、横田要、内藤芳子、稲垣菜穂子、窪彬久、大木一隆
事務局	(市民部広聴人権課) 中村課長、若井係長、吉田主事補
議 題	第二次ざま男女共同参画プランの実施事業報告について
資料の名称	配付資料 1. 第二次ざま男女共同参画プランの実施事業報告

◇第二次ざま男女共同参画プランの実施事業報告について

第二次ざま男女共同参画プラン計画期間終了に伴い、ざま男女共同参画プラン推進協議会委員へ各課の事業の実施状況報告を送付し、書面にて意見照会を行った。

委員から寄せられた意見は以下の通り(広聴人権課事業分のみ抜粋)。また、他課の事業に対する評価については、「第二次ざま男女共同参画プラン 計画期間10年間の総合評価」としてまとめたものをホームページで公開する。

事業No.1 ; 起業についての講座の実施及び情報提供

委員意見：今後も事業を推進していく必要があるが、事業の目標及び計画値の見直しが必要である。

事業No.2 ; 政策・方針決定等の意思決定における男女共同参画の推進

委員意見；ある程度の成果を上げており、今後は目標達成に向けて事業の課題の改善に向けた効果的な検討・実施を望みます。

事業No.3 ; 政策・方針決定等の意思決定における男女共同参画の推進

委員意見：今後も事業を推進していく必要がありますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を配慮した、事業方法等を工夫し、チラシの配架方法の検討等をしていく必要があると思います。

事業No.4 ; 配偶者等、異性に対する暴力行為相談体制の充実

委員意見；相談カード等を活用した多様な配架方法の模索や相談窓口の周知徹底を引き続き推進していくことを望みます。

事No.5 ; 配偶者等への暴力相談に対する関係機関の連携

委員意見；成果を上げており、今後も関係機関との連携の強化を徹底に推進していく必要があります。

事業No.6 ; 異性への暴力防止の意識啓発

委員意見；十分な成果を上げており、今後もハラスメントに関する啓発冊子の周知徹底を推進していくことを望みます。

事業No.7 ; 異性への暴力防止の意識啓発

委員意見；十分な成果を上げており、今後は時代のニーズに合った情報提供、啓発活動を研究していくことを望みます。

事業No.8 ; 情報の正しい認識力を高める学習機会の提供

委員意見；十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

○男女共同参画に関する意識啓発の実施【事業No.9～13】

事業No.9 ; 男女共同参画に関する講座の実施

委員意見；今後も事業を推進していく必要がありますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を配慮した、事業方法の見直しを研究していくことを望みます。

事業No.10 ; 男女共同参画に関する講演会の実施

委員意見；十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます

事業No.11 ; 男女共同参画についての情報紙の発行

委員意見；十分な成果を上げており、今後は更なる目標達成に向けて事業の課題の改善に向けた効果的な検討・実施を望みます。

事業No.12 ; 男女共同参画に関する意識啓発の実施

委員意見；引き続き事業の発展に必要な課題を検討し、積極的な情報提供を実施していくことを望みます。

事業No.13 ; 男女共同参画に関する職員研修の実施

委員意見；成果を上げており、今後もジェンダー平等の視点を配慮した、事業の実施・検討を推進していくことを望みます。